

令和8年3月31日

世田谷区立桜丘中学校の保護者様

さくらの学び舎
世田谷区立桜丘中学校
校長 山本 武

令和8年度に向けた改善方策について

早春の候、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、昨年末の実施の学校関係者評価アンケートでは、ご協力をありがとうございました。

ご回答いただきましたアンケートは、「世田谷区教育委員会による集計」「学校関係者評価委員の皆様による分析・検討」を行い、結果を「令和7年度学校関係者評価結果について」としてまとめました。

桜丘中学校では学校関係者評価委員会からの報告をもとに、校内で実施した教職員による全方位点検と合わせて、次年度の学校運営並びに教育活動を下記のように改善していきます。

なお、学校関係者評価委員会からの報告、学校自己評価報告書、各項目の評価結果につきましても本校のホームページ上に掲載しますのでご覧ください。

記

- 1 学校関係者評価アンケートの回収率について ※（ ）内は昨年度
保護者：65.4%（55.6%） 地域の皆様：31人（26人）
生徒：78.0%（74.5%）

- 2 学校関係者評価結果の概要について
 - (1) 今年度は保護者からの学校関係者評価アンケート回収率が昨年よりも10%程、高くなりました。回収率（令和6年度55.6%→令和7年度65.4%）
 - (2) 生徒アンケートの全項目31のうち（読書時間に関するものは除く）、30項目で70%以上の肯定的回答でした。また、24項目で80%以上の肯定的回答でした。
昨年度と比較しても、ほぼすべての項目で肯定的回答割合が上がっていました。成果を上げた項目の取組を充実・改善していくことが大切と考えています。
 - (3) 保護者アンケートの全項目43のうち、22項目で70%以上の肯定的回答を得ています。
紙ベースのアンケートからインターネットを介してのアンケートに変更した結果、かなり回収率が下がっていましたが、回答数は増えてきました。また、5項目で「分からない」の回答が25%を超えていました。
 - (4) 地域アンケートの全項目21のうち、17項目で、70%以上の肯定的回答を得ています。
また、1項目で「分からない」の回答が25%を超えていました。昨年度に引き続き、学校ホームページの更新や学校・学年だよりの定期的な発行等により、学校の教育活動を周知して学校の取組を理解していただけた結果だと考察しています。

以上のことから、概ね生徒は、本校の取組を肯定的に捉えていただいていると考えられます。保護者の「わからない」の回答も減少傾向にあります。今後も引き続き理解啓発・情報発信を行うことが重要と捉えることができます。また、様々な教育課題を抱えていたこ

とも事実です。未来に生きる子どもたちに必要な力（キー・コンピテンシー）の育成・伸長に焦点化した改善策を講じ、結果を示していくとともに、生徒にとって、安心・安全で安定した学校生活を提供できるよう努めていきます。

3 改善策について

学校関係者評価委員会からの報告をもとに、校内で実施した学校自己評価と合わせて検討しました。結果、次の3点を次年度の重点目標として設定し、内容に示しました教育活動の充実に努めていきます。

(1) 目指す学校像…安心・安全で安定した学校

- ①学習指導要領の趣旨に基づき、キー・コンピテンシー育成を重視した学校
- ②生徒に実質的な活動の場を与え、主体的に判断・実践し、自立心を伸長する学校
- ③生徒が互いに思いやり、自他の生命及び人権を尊重する学校
- ④地域的な特色を生かした創造的な教育で教育課題に果敢に対応する学校

(2) 令和8年度の「基本方針」と目指す方向性

基本方針1：確かな学力を育む教育の推進

基本方針2：豊かな人間性を育む教育の推進

(3) 具体的に取り組む内容について

①基本方針1：確かな学力を育む教育の推進について

自ら主体的に学び、自己の可能性を伸ばし、創造的・積極的に社会で生きる力の向上を目指します。具体的に次の実践を行います。

ア 学習指導要領の趣旨に則った意図的・計画的な指導の実施

イ 基礎的な知識・技能の習得を目指した指導の充実…R8最重要

※授業において「経験する」「探究する」を中心に据えた学習の展開

※教える教育から、環境を整備する教育への転換（自由進度学習）

…次期学習指導要領の視点

ウ グローバル人材としてのコミュニケーション能力を高める指導の充実

エ SDGs の理解の充実と実践力の向上

オ 各種テスト結果を活用した指導の実施

※全国学力・学習状況調査 QU NINO 定期テスト 他

カ 非認知能力（GRIT・自制心）の伸長を図る指導の充実…R8最重要

キ 探究的な学習の実践と思考力・判断力・表現力の伸長

※情報活用能力の伸長

※探究的な学習の実践と評価…自己理解・自己啓発

ク 体力向上・健康教育・性教育の充実 ※感染症 がん教育

ケ 不登校生徒等に対する「学習の機会」の充実

②基本方針2：豊かな人間性を育む教育の推進について

自己肯定感を高めるとともに、相手の良さや立場を理解して対応できる力の向上を目指します。具体的に次の実践を行います。

- i 人権教育の充実を図る。
 - ア 自他の人権と生命尊重の精神の醸成
 - ※ポジティブ行動支援の浸透と実践…R 8 重点
 - イ 言語環境の整備と適切な言葉遣い（挨拶）の指導の充実
- ii 道徳教育の充実を図る。
 - ア 道徳教育の重点項目の設定
 - 「克己と強い意志」「思いやり 感謝」「相互理解 寛容」「よりよい学校生活 集団生活（ルールの確立とリレーションの形成）」
- iii 生徒指導の充実（プロアクティブ重視）
 - ア 自律を促す指導の充実
 - イ ポジティブ行動支援の浸透と実践…R 8 重点
 - ウ ボランティア活動の充実・促進…R 8 重点
 - エ いじめ対応の確立と計画的な実践（地域・保護者連携）
 - オ レジリエンスの醸成
 - カ 情報モラル教育の充実…R 8 最重点
 - キ 教育相談体制の確立 不登校対応の充実…R 8 重点
 - ク 安全教育・安全指導に関する指導の充実
 - ケ 非認知能力「GRIT・自制心」の伸長…R 8 最重点
- iv キャリア教育の充実を図る。
 - ア 自己理解・自己啓発を図るための指導の推進
 - イ 社会における生き方を考える指導の推進（行動力）…R 8 重点
 - ウ 責任感を醸成する指導の推進 ※リーダーシップ教育
 - エ 進学指導の推進…R 8 重点
 - オ キャリアプランの作成と実践と活用（自分の生き方の目標設定と振り返り）
- v 特別支援教育の推進を図る。
 - ア 校内委員会の在り方の検討
 - イ 生徒理解の促進…R 8 重点
 - ウ 専門性向上のための研修の実施
 - エ 特別支援学級の円滑な運営…R 8 最重点